

平成 30 年度事業報告書

1 概 要

平成 30 年度は以下に重点をおいて事業を実施した。

- (1) 国、地方公共団体からの受託調査について、都市づくりの最重要の行政的課題であるコンパクト・プラス・ネットワークの推進に関連して、既成市街地の再整備や持続可能な都市再開発事業のあり方に係る検討、立地適正化計画の策定等の業務を中心に受託し、成果を上げた。
- (2) 自主研究とその成果を自主事業の勉強会等の形で会員に提供している業務について、官民連携のまちづくりの取り組みにおいて重要な手法となってきたエリアマネジメントに関して、アンケート調査等による事例収集を行うとともに、これらの成果を踏まえ、平成 28 年度より継続している当機構の自主事業として、3 回目の「エリアマネジメント実務勉強会」を実施した。特に本年度は昨年度までの国の協力に加え、都市計画学会との共催により実施し、ワークショップ形式でより実践的な成果を得ることができた。
- (3) 事務局業務を行っている、地方公共団体を会員とするまちづくりの協議会について、コンパクト・プラス・ネットワークの推進のために、既存の「まちづくり情報交流協議会」を発展的に改組し、計画制度としての立地適正化計画制度と事業制度としての都市再生整備計画事業の活用を支援する「コンパクトなまちづくり推進協議会」を発足させ、会員の拡大、活動の活性化を図った。
さらに、この動きと合わせ、後援いただいている国土交通省と相談し、それぞれ国土交通大臣賞をもつ「まち交大賞」と「コンパクトシティ大賞」の両表彰制度を「コンパクトなまちづくり大賞」として 1 本化するとともに、同様に「先進的まちづくりシティコンペ」を「先進的まちづくり大賞」として 2 つのまちづくりの表彰制度として整理し、まちづくりに関する顕彰制度を充実させた。
- (4) また、同様に当財団が事務局業務を担っている都市地下空間活用研究会（地下研）とアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）についても、会員メンバーと共に調査研究活動や講演会、見学会を積極的に実施した。

2 事業の実施状況

(1) 会議の開催

(イ) 理事会

- ・第17回理事会 平成30年6月8日

(於：都市計画会館)

議案 平成29年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
平成29年度公益目的支出計画実施報告書(案)について
理事の推薦について

報告事項 第7回定時評議員会の招集について

財産の運用状況について

賛助会員の状況について

- ・第18回理事会 平成30年6月28日(書面決議)

議案 代表理事及び業務執行理事の選定について

- ・第19回理事会 平成31年3月27日

(於：一般社団法人国際建設技術協会 会議室)

議案 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
参与の委嘱(案)について

(ロ) 評議員会

- ・第7回定時評議員会 平成30年6月28日

(於：都市計画会館)

議案 平成29年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
平成29年度公益目的支出計画実施報告書(案)について
評議員の選任について

会長及び会長代理の選任について

理事の選任について

報告事項 平成30年度事業計画及び収支予算について

(2) まちづくり情報交流活動

(イ) 「先進的なまちづくり事例のご紹介」ページの運営

先進的なまちづくり事例等の情報を全国に提供するため昨年度当機構のホームページにおいて、公民連携、柔軟な市街地整備、エリアマネジメントなどをキーワードとして、全国で展開されている先進的なまちづくり事例等を紹介するページを新たに設けたところであるが、引き続きこうした事例等214件の紹介を実施した。

- ・「多様なまちづくり事例」編 21件
- ・「まち交大賞」編 111件
- ・「土地活用モデル大賞」編 82件

(ロ) 「まち交ネット」の運営管理

「都市再生整備計画事業」に関する各種情報を提供するため、平成16年に開設し運営してきた「まち交ネット」において、全国の各都市で策定が進められている「立地適正化計画」の情報に関する検索システムを付加し、平成30年8月より公開している。

(3) 調査研究

(イ) 受託調査

国、地方公共団体等から、新しい時代に即したまちづくり調査等を10件受託し、実施した。

①国等からの受託調査（3件）

- ・ 地域の活性化に資する既成市街地の再整備等に係る事業の実施方策検討業務（国土交通省）
- ・ 持続可能な市街地再開発事業等の推進方策検討業務（国土交通省）
- ・ 平成30年度先進的なまちづくりモデル推進調査検討業務（国土交通省）

②地方公共団体からの受託調査（5件）

- ・ 立地適正化計画(全体版)策定業務（小田原市）
- ・ 高崎市立地適正化計画(案)構築に向けた検討業務（高崎市）
- ・ 豊洲グリーン・エコアイランド構想施策支援業務委託（江東区）
- ・ 湯沢市柳町二丁目地区計画コーディネート業務（湯沢市）
- ・ 「上野まちづくりビジョン策定委員会まちづくり部会」事務局支援業務（台東区）

③民間等からの受託調査（6件）

- ・ 北8西1地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務
（札幌駅北口8・1地区市街地再開発準備組合）
- ・ 豊海地区第一種市街地再開発事業に伴う特定業務代行者選定業務
（豊海地区再開発準備組合）
- ・ 東京駅八重洲一丁目東地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務（東京駅前八重洲東地区市街地再開発準備組合）
- ・ 平井五丁目駅前地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務委託
（平井五丁目駅前地区市街地再開発準備組合）
- ・ 十条駅西口地区第一種市街地再開発事業に係る特定業務代行者選定業務
（十条駅西口地区市街地再開発組合）
- ・ 中野二丁目地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者選定業務
（中野二丁目地区市街地再開発準備組合）

（ロ） 自主研究

- ① 立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業の推進に向け、継続して立地適正化計画策定や事業実施上の疑問点、課題等の実務的なノウハウの蓄積に努めた。
その一環として、従前の「まちづくり情報交流協議会」を発展的に改組して発足した「コンパクトなまちづくり推進協議会」（改組の経緯等は後述（7）（イ））と連携し、平成26年度、平成28年度、平成29年度に実施した「立地適正化計画実務勉強会」に続き、「コンパクトなまちづくり実務勉強会」（国土交通省と共催）を実施した。
- ② エリアマネジメントに関するものとして、「エリアマネジメントの取組状況等に関する調査」を実施し、市町等における取組み実態とともに、持続可能なエリアマネジメントのあり方に関する考え方を把握し、あわせて事例収集を行った。また、これらの成果を踏まえ、後述のとおり、平成28年度より当機構の自主事業として取組んできた「エリアマネジメント実務勉強会」を実施した。
- ③ 全国のまちづくり事例の情報を継続して収集、整理し、当機構のホームページにおいて、「先進的なまちづくり事例のご紹介」を継続した。

（4）表彰事業等まちづくりに関する普及啓発活動

（イ）第13回まち交大賞の表彰

主 催： まちづくり情報交流協議会、（一財）都市みらい推進機構

後 援： 国土交通省

国土交通大臣賞は、まちづくり月間「まちづくりと景観を考える全国大会（平成30年6月15日）」において表彰を行い、その他の賞については、「まちづくり情報交流協議会第14回定期総会」（同年6月29日）に先立ち表彰を行った。

【完了地区】

- 国土交通大臣賞
砂沼周辺地区（茨城県下妻市）
- まちづくり達成大賞（まちづくり情報交流協議会会長賞）
滝沢村役場周辺地区（岩手県滝沢市）
- まちづくり効果賞
新船岡地区（宮城県柴田町）
恵庭駅西口地区（北海道恵庭市）

【計画地区】

- 創意工夫大賞（都市みらい推進機構理事長賞）
JR 境港駅前地区（鳥取県境港市）
- まちづくりシナリオ賞
中条駅西口周辺地区（新潟県胎内市）
粟津温泉地区（石川県小松市）

（ロ）第1回コンパクトなまちづくり大賞の選出

主催：コンパクトなまちづくり推進協議会、（一財）都市みらい推進機構
後援：国土交通省

コンパクトなまちづくり推進協議会が発足したことを踏まえ、今年度より新たに創設した「コンパクトなまちづくり大賞」について、平成31年1月、各地方整備局、都道府県等の協力を得て、市区町村に対し募集を行い、応募のあった18地区（総合戦略部門9地区、個別事業部門9地区）から、以下の各賞を審査委員会において審査中である。

【総合戦略部門】

- 国土交通大臣賞
- コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞

【個別事業部門】

- 国土交通大臣賞
- 都市みらい推進機構理事長賞

※ 表彰式は、国土交通大臣賞は、まちづくり月間「まちづくりと景観を考える全国大会」(令和元年6月14日)において、その他の賞については、コンパクトなまちづくり推進協議会全国大会(令和元年7月開催予定)において行われる予定。

(ハ) 第1回先進的まちづくり大賞

主 催：コンパクトなまちづくり推進協議会、(一財)都市みらい推進機構
後 援：国土交通省

コンパクトなまちづくり推進協議会が発足したことを踏まえ、今年度より新たに創設した「先進的まちづくり大賞」について、平成31年1月、各地方整備局、都道府県等の協力を得て募集を行い、応募のあった8地区から、以下の各賞を審査委員会において審査中である。

○国土交通大臣賞

○都市みらい推進機構理事長賞

※ 表彰式は上記(ロ)と同様。

(ニ) 第15回土地活用モデル大賞

主 催：(一財)都市みらい推進機構

後 援：国土交通省

表彰式：平成30年10月30日(火)

会 場：アルカディア市ヶ谷

○国土交通大臣賞(1点)

・「氷見市北大町市有地利活用事業」

【所在地：富山県氷見市】

○都市みらい推進機構理事長賞(1点)

・「公園・広場と交流空間の一体的な整備「民→公→民」スキームによる住民自立型コミュニティ施設の運営 辻堂西口YU-ZUルーム」

【所在地：神奈川県茅ヶ崎市】

○審査委員長賞(1点)

・「おりづるタワー」

【所在地：広島県広島市】

(5) 講演会・意見交換会・プロジェクト説明会等の開催

(イ) 土地月間記念講演会

開催日：平成30年10月30日（火）

主催：（一財）都市みらい推進機構、（一財）土地総合研究所
（一財）土地情報センター、（一財）不動産適正取引推進機構
（公財）不動産流通推進センター

後援：国土交通省、（一財）民間都市開発推進機構、（一財）日本不動産研究所、（株）日本政策投資銀行

会場：アルカディア市ヶ谷

演題及び講師：

・「土地行政の最近の動きについて」

国土交通省土地・建設産業局 不動産市場整備課長 武藤 祥郎氏

・平成30年度土地活用モデル大賞各賞の概要説明 各受賞者 代表

・記念講演「誇れるまちの賑デザインとは」

東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤 香織 氏

(ロ) 都市みらい・地下研（後述）・UIT（後述）合同講演会

① 第33回合同講演会

開催日：平成30年7月10日（火）

会場：都市計画会館

演題：「市街地整備・まちづくりの現状・展開」

講師：国土交通省都市局市街地整備課長 徳永 幸久 氏

② 第34回合同講演会

開催日：平成30年11月22日（木）

会場：都市計画会館

演題：「スマートシティの実現に向けて」

講師：国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室長 越智 健吾 氏

③ 第35回合同講演会

開催日：平成31年3月7日（木）

会場：都市計画会館

演題：「国土強靱化に向けた最近の取組等について」

講師：内閣官房国土強靱化推進室 参事官 小山 陽一郎 氏

(ハ) 都市みらいプロジェクト説明会

「明治記念大磯邸園見学会」（UIT と共催）

開催日：平成30年10月26日（金）

場所：明治記念大磯邸園

(二) 都市みらい調査研究報告会、講演会及び意見交換会

開催日：平成30年8月28日（火）

会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

○調査研究報告会

- ・平成29年度受託調査・自主研究の概要
- ・小田原市立地適正化計画について
- ・先進的まちづくりシティコンペについて

○講演会

講演1 日本大学理工学部土木工学科教授 中村 英夫 氏
「今後のまちづくりへの期待」

講演2 国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長
鹿子木 靖 氏
「まちづくり最近の話題について」

寄稿1 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授 横張 真 氏
「公園緑地のマネジメントをめぐる新たな方向性」

寄稿2 (公財) 都市づくりパブリックデザインセンター
理事長 木下 瑞夫 氏
「シンプル・プログラミングのすすめ」

○意見交換会

賛助会員と国土交通省都市局及び土地・建設産業局の幹部との意見交換を実施した。

(ホ) 平成30年度エリアマネジメント実務勉強会の実施

当機構は、エリアマネジメントの裾野拡大を目指すことがマネジメント重視の時代（社会的要請）における役割と認識しており、平成28、29年度に、エリアマネジメントを扱う勉強会を開催した。

勉強会の実施にあたっては、従来より、法政大学の保井美樹教授、国土交通省の官民連携推進室長に講師になって頂いており、両氏を通じて同大学および同省の協力を得てきたところである。平成30年度の勉強会では、これまで以上に学術分野等との連携を強めることにより、エリアマネジメントの実務者にとってより有用な勉強会を目指した。

本勉強会については、例年と同様に国の協力を仰ぎつつ、一般財団法人都市みらい推進機構、都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会（研究交流分科会A）の2者の主催により実施した。

【実施概要】

- ・日 時：平成31年1月22日（火） 10：00～16：40
- ・場 所：こくほ21（新宿区市ヶ谷）

【勉強会プログラム】

第1部（午前）

・基調講演

保井 美樹 氏（法政大学教授、全国エリアマネジメントネットワーク副会長、一般財団法人都市みらい推進機構理事）

・先進事例報告

土方 さやか 氏（秋葉原（東京都千代田区））

山中 佳彦 氏（武蔵小杉（神奈川県川崎市））

岩崎 正夫 氏（福井（福井県福井市））

榊原 進 氏（荒井東（宮城県仙台市））

宋 俊煥 氏（宇部（山口県宇部市））

泉山 墨威 氏（さいたま新都心（埼玉県さいたま市））

・国土交通省からの情報提供

鹿子木 靖 氏（都市局まちづくり推進課官民連携推進室長）

・参加者から事前に寄せられた質問内容に対する質疑応答

第2部（午後）

・ワークショップ

（へ）都市みらい通信（IFUD LETTER）の発行

都市みらい通信を原則毎月発行し、機構の活動状況やまちづくり関連ニュース等を提供した。同時にホームページにも掲載した。

（6）「都市再生整備計画コーディネート事業」の実施

都市再生整備計画コーディネート事業（「都市再生整備計画事業」を行う市区町村の求めに応じて、当機構の審査に基づき登録された専門家（コーディネーター）を派遣し、都市再生整備計画策定、事後評価等に対し指導・助言・提案等を行う事業）を継続して実施し、市区町村からの相談に応じた。

(7) まちづくり関連諸団体の支援

事務局として次のような団体の活動を支援した。

(イ) 「まちづくり情報交流協議会」の解散及び「コンパクトなまちづくり推進協議会」の発足等について

平成 18 年に発足した「まちづくり情報交流協議会」は、これまで都市再生整備計画制度によるまちづくりに関する活動を進めてきたところであるが、近年の人口の急激な減少と高齢化を背景として、地域の創意工夫のもとコンパクトなまちづくりを一層進めていくことが求められ、計画制度としての立地適正化計画制度と、これに併せて事業制度としての都市再生整備計画事業のさらなる活用が望まれている。

こうしたことを踏まえ、これまでの「まちづくり情報交流協議会」の活動に加え、立地適正化計画に関する活動を併せて進めることが有効と考えられることから、従来の協議会を発展的に改組し、平成 30 年 6 月 29 日「コンパクトなまちづくり推進協議会」が発足した。

また、これまで協議会活動の中で実施してきた表彰制度について、国土交通省や他団体等と協議の上、次のとおり見直しのうえ実施することとした。

コンパクトなまちづくり大賞

「総合戦略部門」－ (公財) 都市計画協会において 2 回実施してきた「コンパクトシティ大賞」を引き継ぐもの

「個別事業部門」－ 13 回実施してきた「まち交大賞」を引き継ぐもの
先進的まちづくり大賞－ 国土交通省都市局において 3 回実施してきた「先進的まちづくりシティコンペ」を引き継ぐもの

(ロ) まちづくり情報交流協議会

第 13 回まち交大賞表彰式、第 14 回定期総会

日 時：平成 30 年 6 月 29 日 (金) 12:30～13:40

場 所：発明会館ホール

(ハ) コンパクトなまちづくり推進協議会

① 設立総会、記念講演、まちづくり講習会

日 時：平成 30 年 6 月 29 日 (金) 13:50～17:00

場 所：発明会館ホール

1) 設立総会

2) 記念講演

「これからのコンパクトなまちづくり

～人中心のにぎわい空間創出を通じて～

日本大学工学部土木工学科教授 中村英夫 氏

3) まちづくり講習会

- ・都市構造可視化計画デモンストレーション

国土交通省都市局都市政策課企画専門官 赤星健太郎 氏

- ・立地適正化計画の最新情報

国土交通省都市局都市計画課

都市機能誘導調整室長 鈴木毅 氏

- ・まちづくりの支援事業についての最新情報

国土交通省都市局市街地整備課企画専門官 林良太郎 氏

- ・プレイスメイキングと産・官・学・民連携 下妻まちづくり物語

(第13回まち交大賞(国土交通大臣賞)受賞)

下妻市建設部都市整備課課長補佐 井上規 氏

② 全国研修会

日 時：平成30年11月28日(水) 14:00～

場 所：輪島市文化会館(石川県輪島市)

1) まちづくり講演会

- ・「漆の里・生涯活躍のまちプロジェクト」

社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷良成 氏

2) まちづくり事業講習会

- ・「コンパクトシティと地方都市再生の推進」

国土交通省都市局市街地整備課長 渡邊浩司 氏

- ・「北陸地方における地域特性を活かした特色あるまちづくり」

国土交通省北陸地方整備局建政部

都市・住宅整備課長 窪田悦郎 氏

- ・「魅力あるまちづくりを目指して

～訪れたくなるまち・住みたくなるまち～

輪島市建設部長 野口裕一 氏

3) まちづくり現地視察研修

日 時：平成30年11月29日(木) 9:00～

視察地区：石川県輪島市輪島中央地区

③ コンパクトなまちづくり実務勉強会の実施

【実施概要】

日 時：平成31年2月1日(金) 13:00～17:15

場 所：都市計画会館

【勉強会の主旨】

立地適正化計画の最新情報の提供と、最近注目されている「行動経済学（ナッジ手法）」の都市計画への適用について考える

- ・立地適正化計画の最新情報について

国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官 筒井祐治 氏

- ・スマートシティの実現に向けて

国土交通省都市局都市計画課課長補佐 関信郎 氏

- ・ナッジ手法について（行動経済学の基礎）

国土交通省都市局都市計画課、(株)博報堂、BEworks

- ・ワークショップ

(二) 都市地下空間活用研究会（地下研）

① 総会・評議員会等の開催

平成30年6月7日（木）に総会及び評議員会を開催した。

② 調査研究活動

1) 大阪分科会

平成30年度は30年9月と31年1月の計2回のセミナーを開催した。分科会メンバー以外、国、地方自治体、鉄道事業者等の参画を得て人的ネットワークを拡大した。

2) 地下利活用検討分科会

地下駅に設けられる鉄道施設とその周辺の地域環境の形成に関する調査・検討を進め、計画策定に当たっての考え方のポイントを整理し、実施に向けての事業手法、法制度等の在り方について提言をまとめた。

3) 八重洲・京橋・日本橋地区分科会

これまでの成果を踏まえ、調査対象としてきた新地下鉄事業の目的・役割を再度整理し、概算事業費を求めると共に、アクセス性による整備効果を検討し、整備上の課題や地域活性化への寄与について各ルート案の比較検討を行った。

4) 地下防災に関する情報提供

これまでの研究実績をもとに、国土交通省、報道機関等に情報提供を行った。

③ 国際交流活動

平成30年11月5～7日に香港で開催されたACUUS2018国際会議に15名の派遣団を送り、論文発表等を行った。

④ 講演会等の開催

講演会を4回、懇話会を2回、施設見学会を3回実施した。

(ホ) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 (UIT)

① 総会・評議員会等の開催

平成30年6月7日(木)に総会及び評議員会をそれぞれ開催し、記念講演会を行った。

② 技術研究発表会の開催

平成30年11月16日(金)に丸ビルホール&コンファレンススクエア(東京会場)において第30回技術研究発表会を開催した。国、地方公共団体、民間企業等から16編の論文および8編のプロジェクト・技術報告が発表された後、記念講演会を行った。参加者数は170人であった。

また、平成31年2月7日(木)に建設交流館(大阪会場)において、本発表会で表彰を受けた3編の論文の発表と講演会を行った。

③ 交流展示会の開催

平成30年11月16日(金)に、丸ビルホール&コンファレンススクエアにおいて第25回交流展示会を開催した。国、地方公共団体、民間企業等8団体が展示を行った。

④ 都市基盤技術サイト「てく Tech まちさんぽ」の管理・運営の実施

平成28年9月末に公開した「てく Tech まちさんぽ」及び公式 Facebook ページでの情報発信を実施中である。昨年5月にはサイトリニューアルをするとともに、各社コンテンツのリンク切れ修正等の対応も実施した。

URL : <https://www.uit.gr.jp/info-portal/>

⑤ 講演会等の開催

講演会を6回、意見交換会を2回、交流見学会を2回開催した。

別紙 平成 30 年度事業報告に係る附属明細書について

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。